

【第一部パネリスト紹介】 司会：<sup>ながさわ ただし</sup>長澤 唯史（梶山女学園大学国際コミュニケーション学部教授）

**中村融**（なかむら・とおる）：愛知県豊橋市出身、在住

中央大学在学中より海外SFの研究、評論、翻訳など幅広い活動を行う。1984年には評論「鏡の国の反在士」でSFファンジン大賞評論部門を受賞。1987年にジャック・ヴァンスの「五つの月が昇るとき」で翻訳家としてプロデビュー。以降、新作の翻訳紹介、古典の新訳、SF／ファンタジーのアンソロジー編纂など、多方面で活躍中。

**大野典宏**（おおの・のりひろ）：愛知県江南市出身、在住

故深見弾氏に師事し、スタニスラフ・レムやストルガツキー兄弟など東欧圏SFの翻訳紹介に長年携わる。またSFのみならずIT関連や武道、ロシア事情全般に関する訳書や編著多数。東欧圏のSF関係者との交流も積極的に行っている。

**舞狂小鬼**（まいくる・こおに）：富山県高岡市出身、名古屋市在住

SFファングループ・アンビヴァレンス所属。会社勤めのかたわら、週末ブロガーとして読書ブログ「お気らく活字生活」で本の感想などを紹介。本の趣味は“広く浅く”がモットー。SF／幻想文学／ミステリといったジャンル小説や文学の他、ノンフィクションやエッセイ、古典までなんでも読む雑食タイプ。

【第二部パネリスト紹介】 司会：<sup>わたなべ ひでき</sup>渡辺 英樹（SF研究者）

**八代嘉美**（やしろ・よしみ）：愛知県出身

幹細胞生物学者。東京大学大学院医学系研究科病因・病理学専攻を修了し（博士（医学））、現在は京都大学iPS細胞研究所上廣倫理研究部門特定准教授。著書は『iPS細胞』（平凡社新書）『死にたくないんですけど』（海猫沢めろん共著、ソフトバンク・パブリッシング）、『再生医療のしくみ』（中内啓光共著、日本実業出版社）、『3・11の未来 日本・SF・創造力』（作品社）など。SF小説を愛好し、評論活動も行う。

**山川賢一**（やまかわ・けんいち）：名古屋市出身、在住

文芸評論家。名古屋大学大学院文学部人文学科フランス文学専攻修了。「フィジカルな宇宙—H・G・ウェルズ」で2009年度日本SF評論賞最終選考。「H・G・ウェルズ—ダーウィニズムの詩学」で2011年度群像新入文学賞評論部門最終選考。著書に『成熟という檻—「まどか☆マギカ」論』（キネマ旬報社）、『エ／エヴァ考』（平凡社）など。アニメに関する論考を中心に活躍している。

**片桐翔造**（かたぎり・しょうぞう）：名古屋市出身、在住

名古屋大学卒。在学中はSF研究会に所属し、ファン活動に参加。「東京創元社〈ミステリ・フロンティア〉特集号」「ゾンビ映画特集号」などの会誌を編集。好きな作家はフィリップ・K・ディックとサキ。『サンリオSF文庫総解説』（本の雑誌社）にて書評を数本寄稿。

**伊部智善**（いべ・ともよし）：静岡県静岡市出身、名古屋市在住

名古屋大学SF研究会会員（現在三年生）。昨年、編集として会誌（人外特集号）を製作。好きな小説はパオロ・バチガルビの『第六ポンプ』、好きな漫画は『セントールの悩み』、『ヒトミ先生の保健室』。